

特集 スケラムを組んで 青少年健全育成

大人の後ろ姿から学ぶもの



寄居町青少年健全育成町民会議会長 矢部 伸昭

町では、5年前から「青年が主役の成人式」に取り組んでいます。町内3中学校の卒業生（19歳、20歳、21歳の各年代）と、地域公民館長で組織された成人式実行委員会により式

を運営しています。実行委員会ではさまざまな意見を出し合い、創意工夫をして、よりよい式の運営を目指しています。前年度に成人式を体験した21歳の実行委員が、後輩たちに多くのアドバイスをしています。また、経験豊富な公民館長も、温かいまなざしで見守ってくれています。

ていきます。積み上げられた成果は次の世代へと引き継がれ、年々改善され充実した成人式へと繋がっています。この方式による今年の成人式は、1月9日に中央公民館で行われました。今年は419人が成人の仲間入りをし、華やいだ雰囲気の中にも緊張や喜びに満ちあふれた、心に残る感動的な式でした。

各小・中学校や駅などに掲げています。県内の非行情勢を見ますと、特に中学生・高校生による万引きが前年に比べて大幅に増加しています。少年非行の要因はさまざまですが、その一つに「少年の規範意識の低下」が挙げられます。少年の規範意識を培うためには、まず大人が手本を示し、決まりを守ることを意義や大切さを教えること、そして真剣に生活している「大人の後ろ姿」を見せることも必要だと思います。

引き続き、地域ぐるみで次世代を担う子どもたちを非行から守り、子どもたちが犯罪に巻き込まれることがないよう、明るい町づくりを努めていきたいと思います。



城南地区の健全育成



城南地区児童生徒健全育成協議会会長 山口 正彦

日ごろ、城南地区を始め寄居町の皆さんには、児童・生徒の健全な育成について多大なご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。この場をお借りして、心より

感謝します。さて、世間一般の社会情勢も非常に混沌とする中、健全育成協議会としても、どのような活動をしていくことが、子どもたちにとってよりよい活動なのだろうか、自問自答をしながら進めてきました。どんなに社会情勢や景気が悪くなっても、絶対に変わらぬ事柄があります。それは「安全を守る」ということです。私たちは子どもたちの安全を

確保するために、学校・保護者を含む地域の皆さん・行政が一体となる活動を目指しています。毎年、城南地区では3校ある小・中学校の児童・生徒全員に、夏休みに健全育成に関わる標語を考えてもらい、優秀作品の表彰と講演会を行っています。今年度は、その優秀作品をより多くの人たちに知っていただくために、優秀作品3作品をのぼり旗にして、城南地区で人通りの多い公共の場所等へ掲示しました。選ばれた子どもたちへの敬意と、

それを見た他の子どもたちの自己啓発、そして地域の皆さんへの働きかけの一端になればとの思いで、例年の事業に併せて試みたところ、地域の方から「散歩道に変化ができてよかった」「今までの学校と変わった」等、色々な感想が学校へも届けられているようです。



ちがより子どもらしく、また、寄居町で安心して生活できるように活動を続けていきたいと思っています。今後ともご理解ご協力をお願いするともに、今年度一年間のお礼を心より申し上げます。

「子どもを非行に走らせる10力条」 家庭・地域との連携による健全育成を



寄居中学校長 関根 正巳

①子どもは自ら進んで学習をしないので、顔を見るたびに、勉強しろと怒鳴りつけること
②夫婦げんかは子どもの前で

闘争的な性格に育てること
③不平・不満を子どもの前で爆発させ、すべてに不満を持ち孤立する子どもに育てること
④失敗したり困ったりしないよう、親が子どものことをすべてやり、過保護に扱うこと
⑤夫婦は教育理念を違えることで子どもの教育方針を相殺し、放任と同じに育てること
⑥子どもの要求は何でも聞き入れ、確実に耐えることので

きない子どもに育てること
⑦子どもの人格を尊重し、とことん信じて何をやるにも自由にさせること
⑧子どもとの会話を少なくして理解ある親のように振る舞い、自立心を養成すること
⑨常に他の子ども（特に兄弟）との比較を怠らず、はつきり指摘して発奮を促すこと
⑩子どもが劣等感を持たないように、センスがよく流行に遅れない子どもにすること
正しい育て方を示唆したのもあるが、意識の違いで子どもを非行に走らせることに

つながる。限界をはっきりと認識できる保護者は、立派な家庭教育をしている人である。「教育よ、よみがえれ」（元長野県篠ノ井旭高等学校長・若林繁太著）より抜粋しました。青少年の非行化は中学や高校で始まるのではなく、幼少期の子育てから大きくかわることが分かります。国や県における児童・生徒の非行問題行動の増加傾向に比べて、寄居町は低水準にあり、子どもたちは大変落ち着いた生活を送っています。基本となる家庭教育が充実し、それを支

える地域と一体となった青少年の育成を進めているおかげと感謝しています。「治に居て乱を忘れず」と言われますが、こんな時こそ、学校・家庭・地域がスクラムを組んで、積極的な健全育成を進めていただきますよう、よろしくお願いたします。

